



# 阪神タイガース 榎田 大樹

背番号 13  
1986年8月7日生(25歳)  
経歴  
大崎小—大崎中—小林西高  
—福岡大—東京ガス

# 13



# 広島東洋カープ 松山 竜平

背番号 37  
1985年9月18日生(26歳)  
経歴  
大崎小—大崎中—鹿屋中央高  
—九州国際大

# 37

小学4年からソフトボールを始め小学5年生で全国大会優勝。東京ガス時代に都市対抗野球に出場し、若獅子賞を受賞。2010 広州アジア大会日本代表として銅メダルに貢献。

### 【昨シーズンの活躍】

- ▲プロ野球オールスターゲームに監督選抜で出場し、2試合に登板。
- ▲球団新人新記録62試合に登板し、セリーグ新人新記録33ホールドを記録
- ▲セリーグ新人王候補に挙がるが惜しくも逃す。

小学3年からソフトボールを始め小学6年生で全国大会優勝。九州国際大学時代、全日本大学選手権に出場し、早稲田大の斎藤佑樹投手から二塁打を放ち注目された。

### 【昨シーズンの活躍】

- ▲6月9日、西武涌井投手からプロ入り初ホームランを放ち10連敗を脱出。涙のお立ち台!
- ▲7月5日の横浜戦で2打点。チームを4位浮上に。9月19日の阪神戦では、4安打を放ち、2度目のお立ち台!
- ▲後半戦は5番レフトでの先発が多く、打線を引っ張った。

毎年恒例のホームラン競争では、子ども達が学年ごとに設定された飛距離を目指して競いました。

高校生や大学生に打順が回るとプロ選手もびっくりする飛距離を叩きだし、訪れた人々を驚かせました。

続いて松山竜平選手が登場し、豪快なスイングで場外の林に90m級の特大大ホームランを連発し、プロ野球選手のレベルの高さを見せつけました。

子どもたちは「スイングが速い。」などと驚いた様子で見入っていました。

練習終了後、目を輝かせながらサインや記念撮影をお願いする子ども達に、両選手は気さくに対応し、「頑張って」「夢をあきらめないで」など声をかけていました。

本町が4名のプロ野球現役選手を排出する背景には、監督の指導や保護者の協力はもちろんのこと、こうしてOBの選手たちが少年団員らと交流すること、遠い存在であったプロ野球選手への夢がより身近な存在になるからではないでしょうか。

この環境が子ども達が思い描く夢への出発点であると感じました。

